



関西学院大学大学院

言語コミュニケーション文化研究科

日本語教育学領域

#### ○沿革と概要

関西学院大学大学院の言語コミュニケーション文化研究科は、関西学院大学初の独立研究科として、2001年4月に博士課程前期課程が開設されました。独立研究科とは、学内の学部と直接関連せず、大学院が独立して存在する研究科のことです。2003年4月には博士後期課程が開設されました。これまでの修了者から、日本語教員をはじめ、言語教育、言語文化、言語科学に携わる教員や研究者を日本国内、国外に数多く輩出しています。日本語教育学領域は、本研究科の一領域として設立されています。

2025年度現在、登録日本語教員の資格取得に係る経過措置において、日本語教育学領域のうち、プロフェッショナルプログラム（平成31年4月1日以降）は「必須の教育内容50項目に対応した日本語教員養成課程等【C-ルート】」に、プロフェッショナルプログラム（平成19年4月1日～）・アカデミックプログラム（平成23年4月1日～）は「平成12年報告に対応した日本語教員養成課程等【D-ルート】」として確認を受けています。

#### ○受講資格・定員

受講資格は、本研究科の日本語教育学領域の学生であることです。定員は、博士課程前期課程全体で一学年30名です。日本語教育学領域には、プロフェッショナルプログラムとア

カデミックプログラムがあります。（海外協定校の学生を対象としたダブルディグリープログラムもあります。）アカデミックプログラムは、入学時に教育機関での日本語教育経験が3年以上ある場合のみ受講できます。

#### ○課程修了要件

日本語教育学領域の修士コースのうち、上記のプロフェッショナルプログラムの場合、領域研究科目として「日本語教育学領域」の科目10単位を含む16単位、実習科目として「日本語教育実践」科目6単位、演習科目8単位の計30単位が必要です。また、アカデミックプログラムの場合は、領域研究科目として「日本語教育学領域」科目8単位を含む22単位、演習科目8単位の計30単位が必要です。

#### ○課程授業の一例

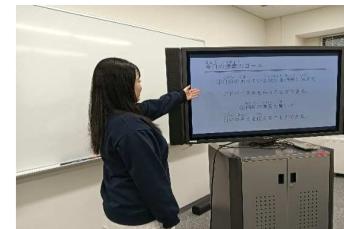
「日本語教育学領域」科目では、日本語教育やその関連分野について、担当教員の専門性を活かした科目が開講されています。例を挙げると、「日本語語彙・文法教育」では、日本語非母語話者への日本語教育に欠かせない日本語の語彙や文法に関する基礎的な知識を習得することを目的とします。また、「日本語会話分析法」では、会話分析の方法論について学び、各自で会話データを分析できる基礎的能力を養成します。

#### ○教壇実習

実習に関する内容は、「日本語教育実践Ⅰ・Ⅱ」という科目で扱います。それぞれ春学期、秋学期に開講されています。この科目では、まず日本語教育の実践に関わる基礎的知識の習得、教案作成、模擬授業を行います。そうした準備段階を経て、最終的に、本学の協定校

からの交換学生を対象に、教壇実習としてクラス授業を実施します。自律的な日本語教員の養成を念頭に置き、教壇実習の授業では既存教材を使用せず、受講者自身で授業内容を検討して決定しています。本学の協定校は59の国・地域に及び、様々な母語話者の日本語学習者を対象とした授業実践を経験することができます。

#### 【模擬授業の様子】



#### ○学習支援体制

大学院生専用の共同研究室があり、グループ利用ができる研究室も用意されています。また、言語コミュニケーション文化研究科の院生専用の共同研究室があり、参考図書も開架されています。また、本研究科在学生は、研究に利用する目的で、図書・資料の購入希望を申請することができます。

#### ○課程修了と進路

本学研究科には、学部卒業後すぐに入学す

る学生、現職を継続しながら学ぶ学生、休職／退職して学ぶ学生など、多様な背景を持つ学生がいます。そのため、終了後の就職先も一般企業、教育機関、公務員（教員）等、様々です。

これまで前期課程修了生のうち、約半数が進路として就職を選択し、そのうち、教員として就職した修了生は57.7%（前職への復帰や現職の継続を含む）となっています。また、修了生のうち、約15%は進学を選択しています。

博士課程修了後に、本学の日本語教員として活躍する修了生も多く、本学の交換学生や学部留学生に対する日本語教育に欠かせない人材となっています。

#### ○関西学院大学の養成課程について知るには

関西学院大学の言語コミュニケーション文化研究科のホームページ

[https://www.kwansei.ac.jp/gs\\_language/](https://www.kwansei.ac.jp/gs_language/)

をご参照ください。入試相談会を含む、各種イベントの案内も掲載されています。

研究科パンフレット（2026年度用）は下記からご覧ください。

言語コミュニケーション文化研究科パンフレット

[https://www.kwansei.ac.jp/gs\\_language/assets/gs\\_language\\_pamphlet.pdf](https://www.kwansei.ac.jp/gs_language/assets/gs_language_pamphlet.pdf)

#### ◆電話、メールでのお問い合わせ先

関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）

言語コミュニケーション文化研究科事務室

TEL:0798-54-6180

Email: genkomi@kwansei.ac.jp